

2016年9月13日

愛知製鋼株式会社

東海市内全小学校における「鉄の教室」について

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、2010年に「会社創立70周年記念事業」の一環としてスタートし今年で7年目を迎える社会貢献活動の“出張授業『鉄の教室』”を、9月に市内6校で実施します。

当初2010年度は、年1回市内3校（渡内、横須賀、大田）のみの開催でしたが、その後、より多くの子どもたちに総合学習の中でモノづくりを学び、体験していただくことを目的に、翌2011年度より年2回（9月度、2月度）市内全12校にて開催することとし、**今回、開催12回目**を迎えます。

東海市は、鉄に関連する企業・工場が多数立地している全国有数の鉄鋼産業地帯です。「鉄の教室」は、日本の産業基盤であり、かつ地元の基幹産業の一つでもある「鉄」の可能性、役割を『楽しく、わかりやく』伝えることにより、地域に根ざした鉄鋼産業への理解、モノづくりへの興味を深めていただくものです。

授業では、当社社員、技術学園生、愛知製鋼グループ社員が講師とアシスタントを務め、「磁石づくり」の講義・実験を通じて『学び、体験する』ことで、「鉄」について学んでいただきます。

今回開催する「鉄の教室」の一部をメディアの皆さまへ公開いたします。取材ご希望の方は、愛知製鋼株式会社総務部広報室 原田、浅井(052-603-9216)まで、ご連絡をお願いいたします。

【「鉄の教室」公開授業】

開催学校：東海市立加木屋南小学校（住所：東海市加木屋町泡池2番地）

開催日時：2016年9月27日(火) 5,6時限目(13:50～15:25)

「鉄の教室」の詳細は、下記のとおりです。

記

1. 名称：出張授業「鉄の教室」
2. 講師：当社社員10～12名がチームとなって、各クラスを担当する
3. 対象：東海市内の小学校（6校）の5年生
4. 授業時間：クラスごとに90～100分 正規授業（総合学習）として2時限分で実施
5. 内容：『知る・見る・体験する』をコンセプトに、鉄（鉄粉）を利用してできる“磁石”づくりを体験し、“鉄”が身近なさまざまなところで活用されていることを学んでもらう

項目	内容
「知る」	・産業の中での鉄の役割
「見る」	・生活の中で使われているさまざまな“鉄”を展示品・パネル等で紹介
「体験する」	・「マイ磁石」づくり。鉄の性質を簡単に安全な理科実験を通して体験する

6. 予定：2016年9月の実施日程は、別紙をご参照ください。

7. 協力：東海市教育委員会、愛知教育大学技術教育講座（副学長 清水秀己教授）、一般社団法人日本鉄鋼連盟、新日鐵住金株式会社名古屋製鉄所、大同特殊鋼株式会社知多工場（順不同）

以上

2016年度 “出張授業「鉄の教室」” 概要

1. 授業内容詳細

(1) 鉄に関する授業

- ①「鉄とランのまち」をキャッチフレーズに名古屋市南部に隣接する中部圏最大の鉄鋼基地として発展してきた東海市。「新日鐵住金(株)名古屋製鉄所」「大同特殊鋼(株)知多工場」、そして当社が東海市にどのように関わっているかを講義する。
- ②生徒さんたちの身の回りに使われている「鉄」がどのように作られているか、どのような性質があるのかを、一般社団法人 日本鉄鋼連盟 発行のテキスト（「ハツラツ鉄学」）を利用して、学ぶ。

(2) マイ磁石づくり

生徒一人ひとりが「鉄（鉄粉）」から磁石を完成させるまでを体験する。鉄粉に溶剤（エポキシ系樹脂剤と硬化剤）を混ぜ、粘土のようにした後、児童の好みの抜き型（クッキー型）で形づくり。ただ、このままでは、単なる鉄粉の固まりにすぎないので強力な磁石を用いて“着磁”させ、「マイ磁石」に変化させることでモノづくりの感動を体験する。

2. 実施スケジュール

(1) 東海市内の小学校（2016年9月実施）

	開催予定日	小学校	クラス数	授業時限目			備考
1	2016年9月27日(火)	緑陽小学校	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	
2		加木屋南小学校	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	メディア公開日
3	2016年9月28日(水)	平洲小学校	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	
4	2015年9月29日(木)	平洲小学校	1	1・2時限目	—	—	
5		大田小学校	2	1・2時限目	3・4時限目	—	
6		船島小学校	2	1・2時限目	3・4時限目	—	
7	2015年9月30日(金)	三ツ池小学校	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	

網掛けの授業日程を、メディア関係者様への公開授業として予定いたします。